

大学院博士課程前期及び専門職学位課程における  
自己点検とその改善に関する年次報告書（総評）

先進理工系科学研究科

1. 評価結果一覧

自己点検・評価単位	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析
	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目
	1-1-1	2-1-1	2-1-2	2-2-1	2-2-2	3-1-1	4-1-1	4-2-1	4-2-2	5-1-1	5-1-2	5-2-1
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

自己点検・評価単位	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析
	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目
	6-1-1	6-1-2	6-2-1	6-3-1	6-3-2	6-3-3	6-4-1	6-4-2	6-4-3	6-5-1	6-6-1	6-6-2
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻数学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻物理学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻地球	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—

惑星システム学 プログラム												
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻基礎 化学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻応用 化学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻化学 工学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻電気 システム制御プ ログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻機械 工学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻輸 送・環境システム プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻建築 学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻社会 基盤環境工学プ	—	—	⑤	—	—	—	⑤	—	—	—	—	—



自己点検・評価単位	分析	分析	分析	分析	分析	分析	分析
	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目
	6-6-3	6-6-4	6-6-5	7-1-1	7-1-2	8-1-1	8-1-2
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻数学プログラム	—	—	④	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻物理学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻地球惑星システム学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻基礎化学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻応用化学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻化学工学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻電気システム制御プ	—	—	⑤	—	—	—	—

ロプログラム							
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻機械 工学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻輸 送・環境システム プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻建築 学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻社会 基盤環境工学プ ログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻情報 科学プログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻スマ ートイノベーシ ョンプログラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工 系科学専攻量子 物質科学プログ ラム	—	—	⑤	—	—	—	—
先進理工系科学 研究科先進理工	—	—	⑤	—	—	—	—

系科学専攻理工学融合プログラム							
先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻	—	—	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

(⑤十分に適合する ④適合する ③やや適合する ②余り適合しない ①適合しない)

## 2. 評価結果に対する総評

大学院先進理工系科学研究科は、博士課程前期・後期を擁する「先進理工系科学専攻」と修士課程を擁する「広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻（以下、国際連携専攻）」の2専攻で構成されている。本研究科は、高い専門性、学際性、国際性、社会実践能力や問題解決能力等を身につけた人材育成を基本理念として、それを実現する具体的な「3つのポリシー」を専攻及び専攻を構成する学位プログラム毎に掲げて、2020年4月に誕生した（国際連携専攻は2020年10月）。本研究科の設立においては、文部科学省の設置認可申請の担当機関と度重なる協議を行い、基本理念、ポリシー、教育課程等を綿密に設計して設置認可を受けた。2021年4月には、デジタルものづくり技術に基盤をおき新産業創出に貢献するスマートイノベーションプログラムも開設した。本書は、この先進的教育課程を着実に実施してきた成果を、研究科設立後二度目の自己点検・年次報告として纏めたものである。

点検の結果は、本書に記した明確なエビデンスのもと、数学プログラムにおける分析項目「6-6-5」の④を除き、すべての分析項目の評価が⑤（十分に適合する）であった。この輝かしい成果は、先述したとおり綿密に設計され設置認可を受けた先進的教育課程を着実に実施することにより達成されたと自負している。昨年度の評価が⑤であり本年度の評価も⑤となった各分析項目においても、ただ漫然と同じ成果を得たものではなく、昨年度の報告書と比較すれば一目瞭然であるが、PDCAサイクルに基づき新たな成果（エビデンス）を加え⑤の質的向上を実現した結果である。

昨年度、分析項目「1-1-1」と分析項目「2-1-1および2-1-2」については、「理工学融合プログラム」の事務的な支援体制に問題があり④の評価であった。当該問題について研究科長のリーダーシップのもと早急に対応し、本報告書の当該分析項目における「昨年度の改善計画に基づく改善状況」に明記した通り、問題の本質を解決した。これは、本研究科のガバナンスが適正で有効に機能している証左である。本年度は、数学プログラムにおける分析項目「6-6-5」の評価のみが④であった。しかし、特記事項を

参照すれば本件はコロナ禍による一過的な結果であることが推定できる。コロナ禍の改善により自ずと改善されることは必定である。